

宮崎神宮：五所稲荷神社

五所稲荷神社は、豊作と商売繁盛にかかわる神道五神を祀っています。明治天皇（1852～1912）が政治権力を回復した 1868 年の明治維新の後に、宮崎神宮の境内が拡張される前は、これらの神々は宮崎神宮周辺の別々の場所に祀られていました。明治政権は、天皇家の起源に触れる古代神話や伝説に関連した神社を重視し、そうした権威ある神社の拡張のために、地元の神々を祀る聖域はしばしば移動されたり、統合されたりしました。五所稲荷は 1871 年に地元の五神を祀るために建てられたもので、そうした再編の一例です。当初は宮崎神宮本殿の東側にありましたが、本殿が再建された 1900 年代初めに現在の場所に移転しました。1968 年、明治維新 100 周年を記念して、周辺の特徴的な赤い鳥居が加えられました。